



2026年5月12日

各 位

会社名 株式会社オーハシテクニカ
代表者名 代表取締役社長 廣瀬 正也
(コード番号：7628 東証プライム市場)
問合せ先 取締役経営企画部長 堀 正人
(TEL. 03-5404-4420)

減損損失（連結）の計上、及び2026年3月期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期連結累計期間において、下記のとおり減損損失（連結）を特別損失として計上しましたのでお知らせいたします。また、2025年7月15日に公表しました2026年3月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失（連結）について

当社の中国事業は、地場EVメーカーの急速なシェア拡大や過当競争による市場環境の急激な変化により、得意先乗用車メーカーの大幅な減産が続き、2024年3月期以降、業績悪化が顕在化しております。この環境変化に対応すべく、計画の見直し、拠点統廃合、人員削減等の構造改革を実施し収益性の改善に努めてまいりましたが、減産に伴う売り上げ減少に歯止めが掛からず、計画した業績が確保できない状況が続いています。

斯かる状況を踏まえ、2027年3月期以降の業績見通しを保守的に算定し、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、中国事業を担う中核3社（大橋汽车配件（広州）有限公司、大橋精密件（上海）有限公司、大橋精密件制造（広州）有限公司）の事業に供する固定資産（土地使用権・建物・機械設備等）の帳簿価格を回収可能額まで減額し、当該減少額604百万円を減損損失として特別損失（連結）に計上することとしました。

2. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2026年3月期連結業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益(※)
前回発表予想 (A)	百万円 39,500	百万円 1,950	百万円 2,400	百万円 2,030	円 銭 157.95 〔78.97〕
実 績 (B)	40,918	2,426	2,966	2,084	〔162.80〕 81.40
増 減 額 (B-A)	1,418	476	566	54	—
増 減 率 (%)	3.6	24.4	23.6	2.7	—
(ご参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	40,017	1,782	2,362	1,522	115.95

※当社は2026年1月1日付で、普通株式1株につき2株を割り当てる株式分割を実施したため、前回発表予想の1株当たり当期純利益に、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の利益を〔 〕内に付記しております。

また、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の通期の1株当たり当期純利益は、162円80銭となり、〔 〕内に付記しております。

(2) 業績予想値と実績値の差異の理由

連結売上高は下期に国内部門が得意先の生産回復、及び新規受注品の売上寄与により堅調に推移したこと、及び為替が全通貨で期初予想レート比円安で推移したことから、通期業績予想を上回りました。

利益面については、中国事業で前期に続き営業損失を計上したものの、売上高の増加に加え、価格改定や製造部門での生産性改善による売上総利益率の改善、及び海外部門を中心に販管費が計画を下回り、連結営業利益、連結経常利益は前回公表した通期業績予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、中国事業にて前記1.に記載の通り、減損損失(604百万円)を特別損失として計上しましたが、通期業績予想を上回りました。

なお、当該減損損失計上による当期のキャッシュ・フローへの影響は無く、「中期経営計画～Mission2025+2～」のキャッシュ・アロケーション計画にも変更は有りません。また当社の堅固な財務基盤等を踏まえ、2026年3月期の期末配当金については、公表通り実施する予定です。

以 上